

名作文庫通信

2026年秋号

新刊ご案内



『ジョン・バーリコーン』

ジャック・ロンドン／著

辻井 栄滋／訳 中公文庫／刊

野性でも人間でもなく、手ごわい相手は「アルコール」。危ういそのせめぎ合いはやがて…。どん底暮らしから作家への道をつかんだ来し方を、小説仕立てで活写する、己と酒のメモワール。

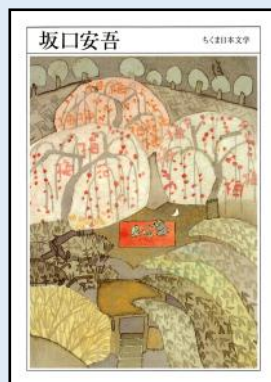
「TRC MARC」より

ちくま日本文学 文庫版

009 坂口安吾

坂口 安吾／著 筑摩書房／刊

風博士／村のひと騒ぎ／FAR
CEに就て／石の思い／
風と光と二十の私と／勉強
記／日本文化私観／墮落
論／続墮落論／白痴／金銭
無情／湯の町エレジー／高千
穂に冬雨ふれり／桜の森の満
開の下



坂口 安吾(さかぐち あんご) 1906-1955

新潟市生まれ。東洋大でインド哲学、アテネ・フランセでフランス文学を学ぶ。1930(昭和5)年、友人らと同人雑誌「言葉」を創刊、翌年6月に発表した「風博士」で、文壇の注目を浴びる。

戦争中は「日本文化私観」「青春論」などのエッセイを書きつづけ、1946(昭和21)年、「墮落論」、「白痴」の発表により、一躍人気作家として表舞台に躍り出る。

1955(昭和30)年、脳溢血により急死。享年48歳。

無頼派・新戯作派の一員として、純文学だけでなく歴史小説や推理小説、文明批評の随筆など多彩な作品を残した。

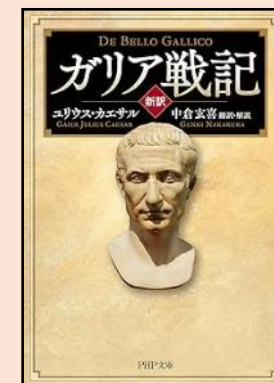
戦うということ

「人類の歴史は戦争の歴史」という言葉があるように、今も昔も地球のどこかで戦いは続いています。戦争文学の特集です。

ガリア戦記

ユリウス・カエサル／著 中倉 玄喜／訳・解説
PHP文庫／刊

軍事の天才が見せた知略と文学的才能とは-。
希代の英雄ユリウス・カエサルがみずから綴った、紀元前58年から紀元前50年までの壮大な遠征の記録。「カエサルの言葉」を所収して文庫化。
「TRC MARC」より



灯台へ

ヴァージニア・ウルフ／著 鴻巣 友季子／訳
新潮文庫／刊

スコットランドの小島のある夏の1日と、第一次大戦を経た10年後の1日。たった2日の出来事を綴ることによって愛の力を描き出し、文学史を永遠に塗り替え、女性作家の地歩をも確立したイギリス文学の傑作。

「TRC MARC」より





季刊「名作文庫通信」
3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5
電話:03-3396-7999